

令和4年度 協町地区地域福祉活動計画実行委員会 活動記録

(感染症予防を考慮しながら、一人ひとりが取り組めることを発信し、住み慣れた地域で安心した暮らしができる地域づくりを目指す)

取り組み	活動の内容	評価・今後の取り組みに向けて
<p>つながり(支えあい)</p> <p>○小地域生活支援ネットワーク 情報交換会の開催</p> 	<p>日時 令和4年6月27日(月)</p> <p>場所 穴吹農村環境改善センター</p> <p>参加者 小地域生活支援ネットワーク 22名</p> <p>内容 倉敷市社会福祉協議会活動事例報告 (講師: 倉敷市社会福祉協議会 主幹 松岡 武司氏)</p> <p>●各種推進・紹介 第3次協町地区地域福祉活動計画実行委員会 小地域生活支援ネットワーク活動</p> <p>●グループワーク ～コロナ禍でも自分の地域の小ネットはどのように動いていた～</p> 	<p>新型コロナ感染症で活動が制限される中、活動のヒントにこの思いを込めて、活発に活動をされている倉敷市社会福祉協議会の報告をしていただいた。 参加者からは、コロナ禍でも工夫をし出来ることから活動をする、活動の次のステップを考える等の前向きなご意見を頂いた。</p> <p>小ネット活動に役立つ情報の紹介や先進地域の活動状況の発信などに取り組む。そして、住み慣れた地域で安心した暮らしができる地域づくりを目指したい。</p>
<p>○ふれあい・いきいきサロン 交流会の開催</p>  	<p>日時 令和4年11月18日(金)</p> <p>場所 穴吹農村環境改善センター</p> <p>参加者 18サロン住民26名 実行委員他18名 暮らし助け合いの会9名</p> <p>内容 ●講話『終活のすすめ』 (講師: 心理カウンセラー 松田 大亮氏)</p> <p>●各種取組・紹介 ・暮らし助け合いの会 取組紹介 ・協町地区実行委員会取組紹介</p> <p>●グループワーク・発表 ・サロンの活動状況について ・サロンで工夫していること ・意見交換 他</p>  	<p>平凡な人生と思ってる人が、輝いた人生に変わる『終活のすすめ』の講話や情報交換を中心に交流会を開催した。 今年度は、生活協同組合暮らし助け合いの会にも参加頂き、情報提供を受けた。また、実行委員会の取組紹介も行い、活動に対するご理解を頂いた。 グループワークでは、サロンの活動状況や工夫している事についてなど意見交換を行い、多くの参加者から参考になったとご意見を頂いた。</p> <p>今後も地域課題を共有できる機会として、基調講演、グループワークの内容などテーマを検討し継続的に開催していきたい。また、DVD編集が可能ならサロン活動に役立てて頂けるよう提供したい。</p>
<p>(防災・防犯)(つながり)</p> <p>○あんしんカードの推進</p> 	<p>●より一層カード活用を高めるために、啓発チラシを作成 (救急車を呼ぶ「もしも…」の時、災害時の安全と安心を守るために活用してほしい)</p> <p>●関係者・関係機関と連携したカード啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年6月27日(月)小地域生活支援ネットワーク情報交換会 ・令和4年10月30日(日)協みちを歩こう「ウォーキング大会」 ・令和4年11月18日(金)ふれあい・いきいきサロン交流会 ・他各種サロン・消防署や警察との情報共有で紹介 <p>体調不良等で離れて暮らす家族に連絡をとる時、備えておくと安心で便利です。是非記入を!</p> 	<p>美馬市では、高齢化率が約40%と全国平均約29%と比べ高い水準となっている。高齢者世帯や独居世帯も増加の傾向にある。 今年度は、小ネット情報交換会、いきいきサロン交流会の他にウォーキング大会でも啓発を行い幅広い年代に周知したことで、いざという時の為だけでなく、支え合い(つながり)への意識づけにつながった。</p> <p>今後も、防災・防犯、つながりの共通項目として、あんしんカードを要援護者に周知・啓発・活用をしていく。また、お出かけ時などに所持して頂ける様、ミニあんしんカードの作成・啓発も行いたい。</p>
<p>(環境)</p> <p>○ペットボトルキャップ回収運動</p> <p>●各団体へキャップ回収運動説明</p> 	<p>●啓発物(回収運動ポスター、分別協力依頼)の作成と周知</p> <p>●集まったエコキャップの分別作業と換金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目 令和4年7月20日(木) 200kg ・2回目 令和4年12月15日(木) 240kg <p>●車椅子購入 ●車椅子贈呈式 令和4年5月19日(木)</p>     <p>※過去5年間 : 分別数量 2636.5kg 車椅子購入台数 5台</p>	<p>多くの方にエコキャップ活動にご協力頂いている結果、前年度比2割増しのスピードでキャップが集まっている。 購入できた車椅子は、社会福祉法人小星園で活用いただくこととなった。 また、各団体などへキャップ回収運動の説明をすると共に、再度、協力依頼も行った。その結果、美馬市全域で幅広く浸透しエコ活動や福祉力向上に繋がっている。</p> <p>キャップ以外の混入物もあり、委員による分別作業が必要な状況が続いている。今後エコキャップ回収を継続しながら、出し方についても啓発、周知を行い、一人一人が「すべきこと・できること」を検討し、環境保全から福祉力向上、社会貢献への住民の意識向上につなげていきたい。また分別作業を共に、行える団体を検討していきたい。</p>
<p>(健康)</p> <p>○協みちを歩こう「ウォーキング大会」の開催 (ノルディックウォークの啓発)</p>  	<p>日時 令和4年10月30日(日)</p> <p>参加者 125名(ボランティア参加者含む)</p> <p>場所 うだつアリーナから別所大楠</p>   	<p>毎年恒例のウォーキング大会は、地域交流の場(機会)として、子どもから高齢者まで世代を超えて楽しめるイベントになっている。 今年は地域行事と重なり参加者が少なかったが、密を防ぎ間隔を空けてウォーキングを楽しむことができた。また、トイレ提供の企業等、多くのボランティアの協力で開催することができ、実行委員会の取り組みの周知を行い、賛同を得ることができた。</p> <p>今後も、健康習慣を推進することで、健康寿命を延ばし、元気な協町を目指したい。またコロナ終息後は、より一層参加者を増やしていきたい。</p> 